

病児・病後児保育の実施を



町長 久保留美子

充実させていきたい



久保留美子

質問 病児・病後児保育による子育て支援についての町の考えは。

町長 保護者にとって、病児・病後児を安心して預けられる施設があることは、仕事と子育ての両立の観点からも重要であると認識している。一昨年12月に行った子育てに関するニーズ調査結果からも、女性の社会進出の増加に伴い、そのニーズが高まっていると考えている。

質問 ニーズ調査に寄せられた保護者の意見はどのような内容か。

町長 子ども育成課長「共働きで仕事が休みにくいため、病児・病後児保育を実施してほしい」「看護師と保育士が預かってくれると安心できる」などの要望があった。

質問 県内自治体の実施状況は。

町長 本年4月1日現在、病児保育や病後児保

育のいずれか、または、両方を実施している自治体は、15市町村32施設となっている。

質問 本町の状況はどうか。

町長 現在、町内で病児・病後児保育を実施している施設はないが、ファミリー・サポート・センターにおいて病児・病後児の預かりを行っている。利用料金については、令和元年度より補助を行い、健常児と同額での利用が可能となっている。

質問 今後の取組はどうか。

町長 ファミリー・サポート・センターにおける



安心して子供を預けられる環境整備を

る病児・病後児預かりの利用者が減少しているため、要因を分析し、今後のよりよいサービス提供につなげていきたいと考えている。また、町内の社会福祉法人から、病児・病後児保育の設置について町に相談があった。現在関係機関と調整を行っており、町も設置に向け協力していきたいと考えている。

質問 少しでも早く実施すべきと考える。改めて今後の町の方針を伺う。

町長 町としても積極的にいき、子育て環境を少しでも充実させていきたいと考えている。

コロナ禍での修学旅行は



教育長 宇津木治宣

代替バス旅行等を検討している



宇津木治宣

質問 コロナ禍において、小中学校の修学旅行が中止された。一生の思い出になる行事であり、実施する方法はないか。

教育長 新型コロナウイルスの感染拡大のため様々な学校行事が中止となる中、修学旅行だけは実現させたいと準備してきたが、県の警戒度も2に引き上げられたことから今年度は中止することとした。しかし、修学旅行は子供たちにとって思い出に残る行事であり、教育的効果も大きい。小学校では、「日帰りであること」「県内または近県の感染の広がっていない地域であること」「感染防止対策を徹底すること」などを考慮し、修学旅行の代替となるバス旅行の実施を決定した。

中学校では、生徒を交え代替実施の可否も含め検討している。

効果的なプレミアム付商品券の発行を

質問 事業の内容及び利用可能店舗の拡充は。

町長 商品券は1冊1万円円で販売し、1冊は千円券15枚綴りで、1万5千円分となる。15枚のうち店舗面積千㎡以上の大型店舗及び一般店舗で使用できる券は5枚、一般店舗のみ使用できる券は10枚である。

購入には、商工会へ事前申込みが必要で、9月23日から10月5日までに往復ハガキで行う。申し込み1件当たり5冊まで購入可能で、多数の場合は抽選となる予定。

商品券が利用できる店舗については、商工会報や町広報紙等にて募集し、拡充に努める。

GIGAスクール構想

質問 GIGAスクール構想への対応は万全か。

教育長 現在町は、1人1台端末環境及び校内ネットワーク整備を進めており、年内には完了する予定である。また、家庭学習支援のためのモバイルルーターも整備した。あわせて、研修等を通じた教員のICT活用指導力の向上及び子供たちがICTを適切・安全に使うことができるよう、情報活用能力の育成を行うなど、GIGAスクール構想の実現に向け、事業を推進している。



導入されるタブレット端末

※1 GIGAスクール構想とは9ページを参照